

夢咲かせ

変額個人年金保険（災害死亡10%型）

特別勘定運用レポート （組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株式インデックスA型	日本株式225ファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	1
日本株式インデックスT型	SMAM・国内株式パッシブ・ファンド		2
日本株式アクティブA型	リサーチ・アクティブ・オープン（変額年金保険向け）	野村アセットマネジメント株式会社	3
外国株式インデックスA型	外国株式インデックス・ファンドVA1	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	4
外国株式アクティブA型	LM・グローバル株式ファンドVA	フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社	5
外国債券インデックスT型	SMAM・外国債券インデックスファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	6
外国債券アクティブA型	ベアリング外国債券ファンドVA2	ベアリングス・ジャパン株式会社	7
バランス型30	バランスVA30	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	8
バランス型50	バランスVA50		9
短期資金A型	フィデリティ・マネー・プールVA	フィデリティ投信株式会社	10

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって

当資料をご覧ください際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の夢咲かせ〔変額個人年金保険（災害死亡10%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、[組入投資信託の運用状況]に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・[組入投資信託の運用状況]は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認ください事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 1.95%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)	特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)	特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)
日本株式インデックスA型	0.4785%程度	外国株式アクティブA型	0.748%程度	バランス型 50	0.539%程度
日本株式インデックスT型	0.083%程度	外国債券インデックスT型	0.198%程度	短期資金A型	0.00935%~ 0.55%程度*
日本株式アクティブA型	0.7095%程度	外国債券アクティブA型	0.748%程度		
外国株式インデックスA型	0.418%程度	バランス型 30	0.517%程度		

* 2005年9月30日「バランス型 70」、2017年11月30日「日本株式アクティブ B 型」が廃止されております。

* 前月の最終営業日を除く最終5営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。



ご注意

- 資産運用関係費は信託報酬を記載しています。その他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- 資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項目	費用		時期
契約維持費	積立金が 200 万円未満のとき	毎月 400 円	月ごとの契約応当日に積立金から控除します。
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円/回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 1.95%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、 払込保険料総額に対して 1~7%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、 一部解約請求金額に対して 1~7%	

* 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

* 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

<解約控除率>

契約日(増額日)からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	7%	7%	6%	6%	5%	5%	4%	3%	2%	1%	0%

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後にご負担いただきます。(遺族年金支払特約による年金も含みます。)

項目	費用	時期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

* 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

特別勘定の名称：日本株式インデックスA型

日本株式225ファンドVA

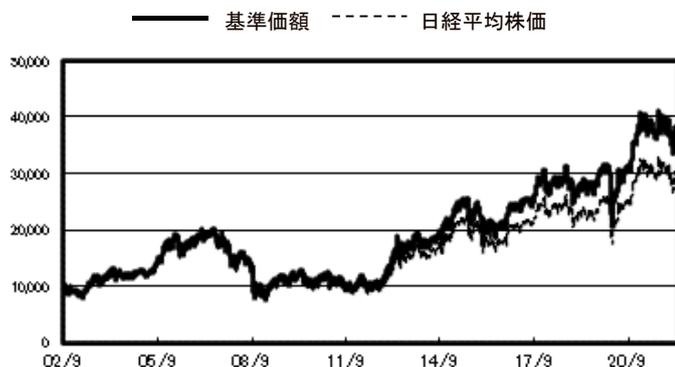
夢咲かせ

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



【日本株式225ファンドVA】

● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
 ■ 日経平均株価については、ファンド設定日前日を10000とした指数を使用しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
 ■ 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。また、本件商品を日本経済新聞社が保証するものではありません。

● 騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
当ファンド	-3.54%	0.19%	-6.37%	-5.64%	264.94%
日経平均株価	-3.50%	-0.57%	-7.08%	-6.82%	188.02%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 組入上位10銘柄(マザーファンド)

(2022年4月28日現在)

	銘柄名	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売業	7.5%
2	東京エレクトロン	電気機器	6.9%
3	ソフトバンクグループ	情報・通信業	4.0%
4	KDDI	情報・通信業	3.3%
5	ファナック	電気機器	2.5%
6	ダイキン工業	機械	2.5%
7	信越化学工業	化学	2.2%
8	アドバンテスト	電気機器	2.2%
9	テルモ	精密機器	1.9%
10	リクルートホールディングス	サービス業	1.8%
	上記合計		34.9%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 225)

● マザーファンドの純資産総額

(2022年4月28日現在)

純資産総額(百万円)	115,154		
〈四半期推移〉			
21/6	21/9	21/12	22/3
99,574	103,110	108,359	116,555

● 資産構成(マザーファンド)

(2022年4月28日現在)

株式	95.5%
先物	4.5%
オプション等	0.0%
合計	100.0%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位業種(マザーファンド)

(2022年4月28日現在)

	業種名	比率
1	電気機器	24.5%
2	情報・通信業	12.4%
3	小売業	9.5%
4	化学	7.7%
5	医薬品	7.4%
	上記合計	61.4%

※マザーファンド株式評価額対比

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：日本株式インデックスT型

SMAM・国内株式パッシブ・ファンド

夢咲かせ

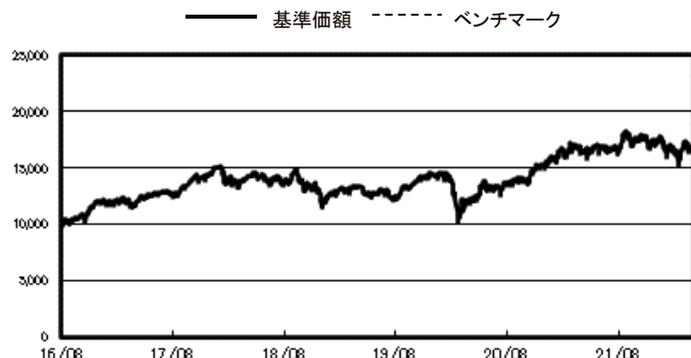


■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

【SMAM・国内株式パッシブ・ファンド】

(2022年4月28日現在)

●運用実績



●基準価額および純資産総額

	4月28日	前月比
基準価額(円)	21,010	-515
純資産総額(百万円)	8,836	-232

- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- TOPIX（東証株価指数、配当込み）をベンチマークとします。
- グラフは、「夢咲かせ」で当ファンドの組入を開始した日（2016.8.24）の前日を10000として指数化しています。
- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	2年	3年	組入開始来
ファンド	-2.39%	1.34%	-3.84%	2.37%	16.39%	7.95%	9.47%
ベンチマーク	-2.40%	1.35%	-3.81%	2.45%	16.44%	7.99%	9.50%

※ 騰落率は年率換算しています。ただし、1年未満は年率換算前です。 ※ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ ファンドの騰落率を算出する基準価額は信託報酬控除後です。 ※ ファンドの騰落率は分配金再投資ベースです。
 ※ “組入開始来”の騰落率は、「夢咲かせ」で当ファンドの組入を開始した日（2016.8.24）の前日を基準としております。

●資産構成

	ファンド	前月比
株式	97.45%	-0.1%
先物等	2.63%	0.2%
現預金等	-0.08%	-0.1%
合計	100.0%	0.0%

※比率は、マザーファンドの資産の内訳を含めた実質組入れ比率（対純資産総額比率）です。

●組入上位10業種(マザーファンド)

	業種名	比率
1	電気機器	17.48%
2	情報・通信業	8.82%
3	輸送用機器	8.33%
4	化学	6.45%
5	卸売業	5.96%
6	サービス業	5.64%
7	銀行業	5.43%
8	医薬品	5.29%
9	機械	5.21%
10	小売業	4.17%

※マザーファンド現物株式評価額対比

●組入上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.19%
2	ソニーグループ	電気機器	2.69%
3	キーエンス	電気機器	1.83%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.75%
5	日本電信電話	情報・通信業	1.55%
6	東京エレクトロン	電気機器	1.35%
7	リクルートホールディングス	サービス業	1.33%
8	任天堂	その他製品	1.29%
9	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.19%
10	KDDI	情報・通信業	1.19%

※マザーファンド純資産総額対比

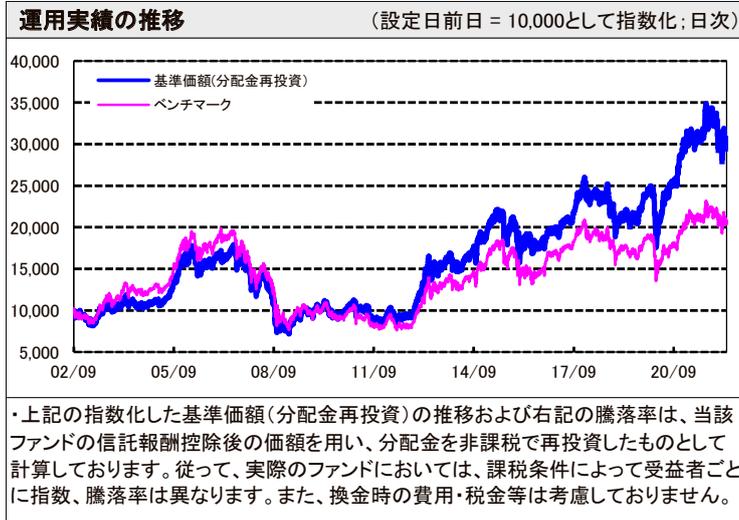
(組入全銘柄数 1,681)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

投資信託の名称：リサーチ・アクティブ・オープン(変額年金保険向け・適格機関投資家専用)

設定来の運用実績

2022年4月28日 現在



基準価額※	29,090 円	
※分配金控除後		
純資産総額	0.8 億円	
騰落率		
期間	ファンド	TOPIX
1ヶ月	-4.8%	-2.4%
3ヶ月	-1.4%	0.2%
6ヶ月	-10.1%	-5.1%
1年	-1.0%	0.1%
騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。		
設定来	200.0%	107.8%

信託期間	無期限
決算日	10月30日(原則)
設定日	2002年9月27日

分配金(1万口当たり、課税前の推移)	
2021年11月	5 円
2020年10月	5 円
2019年10月	5 円
2018年10月	5 円
2017年10月	5 円

設定来累計	450 円
-------	-------

設定来 = 2002年9月27日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ファンドの分配金は分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2022年4月28日 現在

資産・市場別配分	
資産・市場	純資産比
東証プライム	97.9%
東証スタンダード	0.1%
東証グロース	-
その他の市場	-
株式先物	-
その他の資産	2.0%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

業種別配分	
業種	純資産比
電気機器	19.8%
機械	10.3%
情報・通信業	8.5%
化学	8.1%
卸売業	7.0%
その他の業種	44.3%
その他の資産	2.0%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2022年4月28日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
ソニーグループ	電気機器	東証プライム	6.2%
日本電信電話	情報・通信業	東証プライム	4.2%
リクルートホールディングス	サービス業	東証プライム	4.1%
伊藤忠商事	卸売業	東証プライム	3.9%
大和ハウス工業	建設業	東証プライム	3.9%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	東証プライム	3.6%
三井物産	卸売業	東証プライム	3.1%
信越化学工業	化学	東証プライム	3.0%
中外製薬	医薬品	東証プライム	2.9%
キーエンス	電気機器	東証プライム	2.9%
合計			37.8%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入銘柄数 : 56 銘柄

◆運用は **野村アセットマネジメント**

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国株式インデックス・ファンドVA1

夢咲かせ

外国株式インデックス・ファンドVA1 (適格機関投資家専用) 月次運用報告書

追加型投信／海外／株式／インデックス型

設定・運用：
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

2022年4月28日現在

基準価額	53,479円
純資産総額	10,508百万円
銘柄数 (マザーファンド)	1,292
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.418% (税抜0.38%)
マザー純資産総額	207,758百万円
β値	1.00
推奨トラッキングエラー	0.01%

＜商品の特色＞

◆投資目的

日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とした「外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場(MSCIコクサイ指数)の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

◆投資対象

外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

＜4月の市場概況＞

4月の外国株式市場は、世界的なインフレ懸念を背景とする金利の上昇基調や長引くウクライナ情勢の混乱を嫌気して軟調な展開となりました。米国株式市場は、小幅上昇で始まった後、中国企業の監査報告を巡る米中対立の緩和を受けて一時は買いが優勢となりましたが、5日には米金融当局者のタカ派的発言やウクライナ侵攻を巡る西側の対ロシア追加制裁への動きが嫌気され反落しました。米当局者のインフレ抑制に対する積極的な姿勢を受けた米長期金利の上昇を背景に大手IT関連株が売られ上旬は芽えなしい展開となりました。中旬に入っても原油価格の急回復によるインフレ懸念の高まりやウクライナ情勢の悪化を背景に低調な地合いが続きましたが、その後は本格化する企業決算への期待感から底堅く推移しました。下旬に入ると企業決算が期待外れの内容になったことに加え積極的な米利上げへの警戒感が投資家心理を冷やし再び下落基調に転じました。月末にかけては一部企業の堅調な決算を受けて反発する局面もありましたが、米大手IT関連企業の低調な決算を嫌気して大幅反落となりました。結局、ダウ平均は32,977.21(前月比-4.91%)、ナスダック総合指数は12,334.64(前月比-13.26%)、S&P500指数は4,131.93(前月比-8.80%)で終了しました。

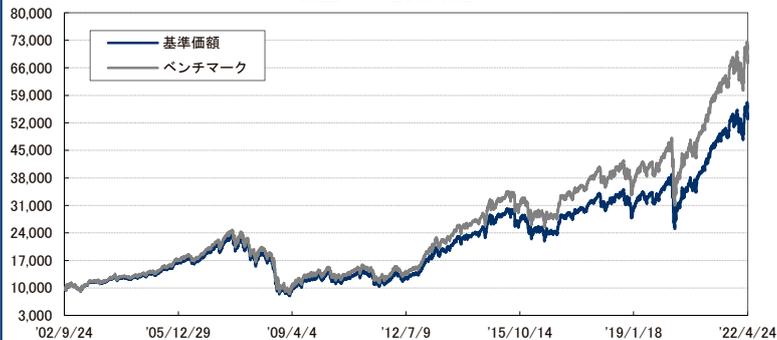
欧州株式市場は、良好な米雇用統計に加え中国企業の監査に絡む米中対立の緩和を好感し続伸して始まり、欧州連合(EU)や米国によるロシアへの追加制裁案の発表や米利上げの加速懸念を背景に反落する局面もありましたが、原油高を受けて石油関連株が買われたほか、押し目買いの動きも見られ上旬は上昇して終えました。中旬に入ると2月の英GDPの減速が相場の重しとなったほか、域内のインフレ加速による経済への懸念から一時は売りが優勢となりましたが、欧州中央銀行(ECB)の利上げに対する慎重な姿勢や企業決算への期待感が相場を支え中旬はほぼ横ばいで推移しました。下旬には低調な英小売売上高を嫌気して幅広い銘柄が売られたほか、芽えなしい決算も相まって軟調な展開となりました。英FTSE100指数は7,544.55(前月比+0.38%)、仏CAC40指数は6,533.77(前月比-1.89%)、独DAX指数は14,097.88(前月比-2.20%)で終わっています。

アジア株式市場では、オーストラリア市場は豪金利上昇や中国経済の減速懸念を背景に下落しました。香港市場は上海などの主要都市におけるロックダウンの長期化を嫌気して大幅下落となりました。豪ASX200指数は7,435.01(前月比-0.86%)、香港ハンセン指数は21,089.39(前月比-4.13%)で終わりました。

外国為替市場は、米国で金融政策の引き締め加速に対する警戒感が広がり金利が上昇した一方、日本では日銀が金融緩和と政策を維持し金利上昇幅の抑制を継続する姿勢を示したことを背景に円安ドル高が進みました。米ドル以外のその他主要国通貨に対しては概ね円安が進行しました。円は対米ドルで月間5.29%下落の128.86円となりました。

MSCIコクサイ指数パフォーマンスは前月比-4.26%となりました。

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移
2022年4月28日現在



注：ベンチマークは、MSCI コクサイ指数のデیلیー・リターンをTTM レートで円換算し、2002年9月23日を10,000として換算し直しています。

信託財産構成比※

項目	国名	2022/4/28	分配実績(税引前)
外国株式	【全体】	96.7%	第6期 (2007.11.30) 0円
	＜北米＞	74.7%	第7期 (2008.12.1) 0円
	アメリカ	71.0%	第8期 (2009.11.30) 0円
	カナダ	3.7%	第9期 (2010.11.30) 0円
	＜アジア・太平洋＞	3.6%	第10期 (2011.11.30) 0円
	オーストラリア	2.3%	第11期 (2012.11.30) 0円
	香港	0.8%	第12期 (2013.12.2) 0円
	シンガポール	0.4%	第13期 (2014.12.1) 0円
	ニュージーランド	0.1%	第14期 (2015.11.30) 0円
	＜ヨーロッパ＞	18.2%	第15期 (2016.11.30) 0円
	イギリス	4.4%	第16期 (2017.11.30) 0円
	フランス	3.2%	第17期 (2018.11.30) 0円
	ドイツ	2.3%	第18期 (2019.12.2) 0円
	スイス	3.0%	第19期 (2020.11.30) 0円
	オランダ	1.2%	第20期 (2021.11.30) 0円
	イタリア	0.7%	
	スペイン	0.7%	
	スウェーデン	1.0%	
	フィンランド	0.3%	
	ベルギー	0.3%	
ポルトガル	0.2%		
デンマーク	0.8%		
ノルウェー	0.2%		
オーストラリア	0.1%		
＜アフリカ・中東＞	0.2%		
イスラエル	0.2%		
その他(現金及び株債指数先物)		3.3%	

上位10銘柄※

順位	銘柄名	投資国名	業種名称	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.9%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.8%
3	AMAZON COM INC	アメリカ	小売	2.4%
4	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.4%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.3%
6	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.3%
7	UNITED HEALTH GROUP	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	0.9%
8	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.9%
9	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.9%
10	BERKSHIRE HATHAWAY B	アメリカ	各種金融	0.8%

※マザーファンド純資産総額対比

基準価額騰落率	設定来	1年間	
(税引前分配金込)	434.79%	14.50%	
騰落率			
	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	-4.30%	-4.26%	-0.04%
3ヶ月	9.10%	9.26%	-0.16%
6ヶ月	1.24%	1.51%	-0.27%
1年	14.50%	15.16%	-0.66%
2年	69.08%	72.61%	-3.53%
3年	55.67%	61.91%	-6.24%
設定来	434.79%	578.58%	-143.79%

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に外国の株式に投資するため、組入れた株式の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：外国株式アクティブA型

LM・グローバル株式ファンドVA

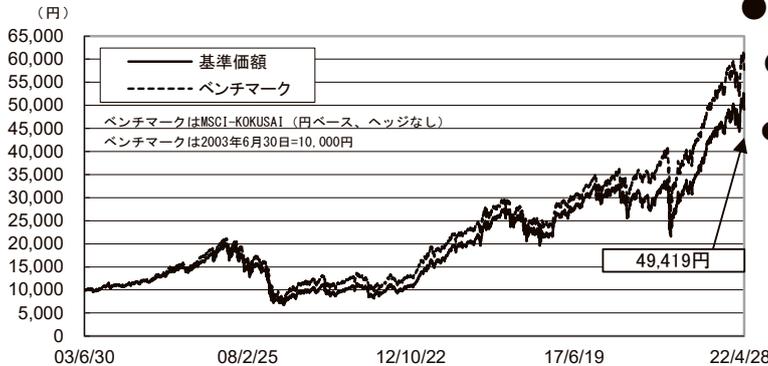
夢咲かせ

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社：LM・グローバル株式ファンドVA

2022年4月28日現在

● 基準価額の推移

● 設定日：2003年6月30日



● マザーファンドの純資産総額 8,503,775,897円

● 基準価額 49,419円

● 投資収益率¹⁾

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	設定来
ファンド	-3.14%	5.55%	3.90%	15.45%	394.19%
ベンチマーク ²⁾	-4.43%	5.00%	1.30%	14.64%	477.83%

1) 投資収益率は全てトータル・リターンで計算されています。トータル・リターンとは、投資の利回りを計算する際に、利息または配当収益、再投資収益、売買または償還損益を合計する計算方法です。ファンドが対象期間にどれだけ値上り（値下がり）したかを計算する際に、分配金等がすべて再投資されたものと仮定しています。

2) ベンチマークはMSCI-KOKUSA1（円ベース、ヘッジなし）

● 上位組入れ銘柄 組入銘柄数：107

	銘柄名	国	業種	純資産比
1	アップル	米	情報技術	5.9%
2	マイクロソフト	米	情報技術	3.2%
3	アルファベット CL C	米	コミュニケーション・サービス	2.2%
4	エクソンモービル	米	エネルギー	1.9%
5	コストコホールセール	米	生活必需品	1.7%
6	ファイザー	米	ヘルスケア	1.6%
7	ノボ・ノルデクス	デンマーク	ヘルスケア	1.6%
8	アルファベット CL A	米	コミュニケーション・サービス	1.5%
9	ユナイテッドヘルス・グループ	米	ヘルスケア	1.4%
10	ターゲット	米	一般消費財・サービス	1.4%

● 業種配分

業種	純資産比	ベンチマーク
情報技術	22.6%	22.0%
金融	13.2%	13.8%
ヘルスケア	13.1%	13.7%
一般消費財・サービス	10.8%	10.8%
資本財・サービス	9.9%	9.2%
生活必需品	7.8%	7.8%
コミュニケーション・サービス	7.2%	7.3%
エネルギー	5.1%	4.8%
素材	3.7%	4.5%
不動産	2.6%	2.9%
公益事業	2.2%	3.2%
その他	1.8%	0.0%

（注）上記業種配分におけるその他は現金等

● 通貨別配分

通貨	純資産比	ベンチマーク
米ドル	73.6%	73.6%
ユーロ	8.0%	9.1%
英ポンド	4.5%	4.6%
その他	13.8%	12.7%
合計	100.0%	100.0%

● 市況概況

4月の株式相場は、下落しました。米国株式については、上旬は、米連邦準備制度理事会（FRB）のブレイナード理事が講演で金融引き締めに向き姿勢を示し、FRBによる積極的な金融引き締め観測が広がったことなどから、株価は上値の重い展開となりました。中旬は、FRBによる積極的な金融引き締め観測が引き続き株価の上値を抑えたものの、米景気は緩やかな拡大を維持するとの見方から、株価は底堅い動きとなりました。下旬は、FRBが金融引き締めペースを加速させるとの観測が広がったことや、中国で新型コロナウイルスの感染拡大の深刻化により、ロックダウン（都市封鎖）が拡大するとの懸念が強まり、世界景気への影響が懸念されたことなどから、株価は下落しました。欧州株式については、上旬は、ロシアに対する追加経済制裁が欧州景気の減速につながるなどの懸念が広がったことなどから、株価は上値の重い展開となりました。中旬は、ウクライナ情勢の長期化による欧州経済への悪影響が懸念された一方で、欧州景気は底堅く推移するとの見方もあり、株価は底堅い動きとなりました。下旬は、中国で新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が続く中、世界景気への影響が懸念されたことや、米金融引き締めペースの加速に対する警戒感が強まったことなどから、株価は下落しました。

● 当月の運用経過

当月は、バリュエーションおよび収益モメンタム等に注目したボトムアップによる銘柄選択により、各セクターの中から相対的魅力度のより高い銘柄に選別投資を行いました。当月の当ファンドのパフォーマンスはマイナスとなりましたが、ベンチマークを上回る結果となりました。

● 当資料は説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社で作成した資料であり、「金融商品取引法」に基づく開示資料あるいは「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づき作成された運用報告書ではありません。● 当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。● 当資料に記載された過去の成績は、将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。● 当社および当社グループの役員は当資料に記載された会社の有価証券を保有し、またこれらの会社と各種の取引関係にある可能性があります。● 当資料に記載されている投資判断には、非公開情報に基づくものはありません。● 当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。● フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：外国債券インデックスT型

SMAM・外国債券インデックスファンドVA

夢咲かせ



■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

【SMAM・外国債券インデックスファンドVA】

(2022年4月28日現在)

● 設定来の運用実績



● 基準価額および純資産総額

	4月28日	前月比
基準価額(円)	18,082	36
純資産総額(百万円)	3	0

- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとします。
- 設定日前日（2003年6月20日）を10000として指数化しています。
- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	2年	3年	設定来
ファンド	0.20%	1.61%	-0.69%	2.52%	4.10%	3.90%	3.20%
ベンチマーク	0.25%	1.69%	-0.56%	2.72%	4.38%	4.15%	3.40%

※ 騰落率は年率換算しています。ただし、1年未満は年率換算前です。

※ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

※ ファンドの騰落率を算出する基準価額は信託報酬控除後です。

※ ファンドの騰落率は分配金再投資ベースです。

※ ベンチマークは基準価額の前日の指数を使用しています。

● 資産構成(マザーファンド)

	ファンド	前月比
債券	99.79%	0.1%
先物等	0.00%	0.0%
現預金等	0.21%	-0.1%
合計	100.0%	0.0%

※マザーファンド純資産総額対比

● デュレーション

ファンド	7.30年
ベンチマーク	7.27年

● 組入上位10カ国(マザーファンド)

	国名	比率	ベンチマーク構成比
1	アメリカ	49.40%	49.56%
2	フランス	9.29%	9.30%
3	イタリア	8.24%	8.25%
4	ドイツ	6.92%	6.92%
5	スペイン	5.53%	5.53%
6	イギリス	5.31%	5.32%
7	ベルギー	2.10%	2.10%
8	カナダ	2.03%	2.03%
9	オランダ	1.78%	1.78%
10	オーストラリア	1.59%	1.59%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄名	クーポン	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/31	1.625%	2031/5/15	0.53%
2	US TREASURY N/B 0.875 11/15/30	0.875%	2030/11/15	0.50%
3	US TREASURY N/B 1.25 08/15/31	1.25%	2031/8/15	0.47%
4	US TREASURY N/B 1.125 02/15/31	1.125%	2031/2/15	0.47%
5	US TREASURY N/B 1.375 11/15/31	1.375%	2031/11/15	0.46%
6	US TREASURY N/B 1.5 10/31/24	1.50%	2024/10/31	0.46%
7	US TREASURY N/B 0.125 07/31/23	0.125%	2023/7/31	0.44%
8	US TREASURY N/B 0.125 09/15/23	0.125%	2023/9/15	0.43%
9	US TREASURY N/B 0.25 11/15/23	0.25%	2023/11/15	0.43%
10	US TREASURY N/B 0.25 06/15/24	0.25%	2024/6/15	0.42%

※マザーファンド純資産総額対比

(組入全銘柄数 799)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ベアリング 外国債券 ファンド VA2 (適格機関投資家専用)



設定：ベアリングス・ジャパン株式会社

作成基準日：2022年04月28日

ファンドの特徴：

- 1.安定したインカム（利子等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
- 2.FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとし、これを上回る運用成績を目指します。
- 3.マザーファンドを通じて日本を除く先進国の国債を中心に分散投資を行います。
- 4.円に対する為替ヘッジは原則として行いません。

《基準価額》

	2022/3/31	2022/4/28
基準価額	20,547円	20,577円

基準価額は信託報酬（年率0.748%（税込）、0.68%（税抜））控除後のものです。（以下同じ。）

《ポートフォリオ特性》

	当投資信託	ベンチマーク	対比
平均残存期間(年)	9.17	9.01	0.16
修正デュレーション(年)	7.51	7.32	0.19

《組入通貨別配分比率》

通貨名	当投資信託		ベンチマーク	対比
	為替ヘッジ前	為替ヘッジ後		
米ドル	38.1%	49.8%	49.6%	0.3%
カナダドル	3.9%	2.7%	2.1%	0.6%
オーストラリアドル	4.3%	2.5%	1.6%	0.9%
ニュージーランドドル	1.9%	▲1.1%	0.0%	▲1.1%
シンガポールドル	1.0%	0.4%	0.4%	0.0%
ドル圏小計	49.2%	54.3%	53.7%	0.6%
ユーロ	36.1%	36.8%	36.2%	0.6%
英ポンド	5.4%	3.8%	5.4%	▲1.6%
デンマーククローネ	0.0%	0.0%	0.4%	▲0.4%
スウェーデンクローナ	2.4%	1.7%	0.3%	1.5%
ノルウェークローネ	2.0%	1.0%	0.3%	0.7%
ポーランドズロチ	0.5%	0.4%	0.4%	▲0.1%
スイスフラン	1.0%	▲0.0%	0.0%	▲0.0%
欧州圏小計	47.5%	43.6%	42.9%	0.7%
イスラエルシェケル	0.7%	0.4%	0.4%	▲0.0%
メキシコペソ	1.9%	1.0%	0.7%	0.2%
人民元	0.0%	0.0%	1.8%	▲1.8%
アラブ首長国ディラハム	0.0%	0.0%	0.5%	▲0.5%
その他小計	2.6%	1.4%	3.4%	▲2.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

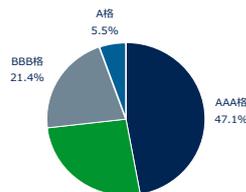
*日本円の部分には為替評価損益を含みます。

《対ベンチマーク残存年分布比較》



《格付別分布》

*マザーファンド・ベース



※格付は有力格付機関の格付の内、最も高い格付を採用した場合の分布となります。格付は当資料作成基準日現在の格付を使用。

当資料は、ベアリングス・ジャパン株式会社（金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第396号、一般社団法人日本投資顧問業協会会員、一般社団法人投資信託協会会員）（以下、「当社」）が、ベアリング外国債券ファンドVA2（適格機関投資家専用）の運用状況に関する情報提供を目的に作成した資料で、法令に基づく開示書類あるいは動向に関する資料ではありません。当資料は、当社が信頼できる情報源から得た情報等に基づき作成していますが、内容の正確性あるいは完全性を保証するものではありません。当資料に掲載した運用状況に関するグラフ、数値その他の情報は過去の一時点のものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

Date Compiled：2018年1月11日、東京 Ref No. I20181Q03

《当投資信託の騰落率》

設定日：2002年9月24日

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.15%	1.22%	-1.09%	1.38%	13.23%	105.77%
ベンチマーク	0.12%	1.48%	-0.66%	2.62%	13.27%	117.75%
差	0.03%	-0.26%	-0.43%	-1.24%	-0.04%	-11.98%

*ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）の前日（土、日等を除く）のドルベースの数値をファンドで採用している為替レート（東京外国為替市場ドル円仲値）で円換算しており、ファンドの基準価額算出方式に合わせています。

《マザーファンドの当期末及び過去4四半期の純資産残高推移》

単位:百万円

	2021/06	2021/09	2021/12	2022/03	2022/04
純資産総額	10,555	10,416	10,417	10,113	10,152

《設定来基準価額（税引前分配金込）とベンチマークの推移》



*ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として指数化して表示しています。

《組入上位10銘柄》

組入銘柄数：65

*マザーファンド・ベース

順位	銘柄	通貨	ウェイト (%)	償還日	格付※	比率
1	米国国債	USD	0.375	2024/08/15	AA+/Aaa	5.79%
2	イタリア国債	Euro	3.500	2030/03/01	BBB/Baa3	4.27%
3	ドイツ復興金融公庫	USD	0.250	2024/03/08	AAA/Aaa	3.89%
4	米国国債	USD	4.500	2036/02/15	AA+/Aaa	3.84%
5	カナダ・オンタリオ州	USD	3.050	2024/01/29	A+/Aa3	3.61%
6	アイルランド国債	Euro	2.400	2030/05/15	AA-/A2	3.60%
7	ポルトガル共和国	USD	5.125	2024/10/15	BBB/Baa2	3.45%
8	米国国債	USD	2.875	2023/09/30	AA+/Aaa	3.33%
9	オランダ国債	Euro	0.500	2032/07/15	AAA/Aaa	3.24%
10	イタリア国債	Euro	9.000	2023/11/01	BBB/Baa3	3.14%

※格付はS&P/Moody'sの格付となります。

市場動向

4月の債券市場は、月前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）高官から積極的な利上げを示唆する発言が相次いだことを受けて、米国主導で欧米の長期金利が上昇しました。月後半においても、FRB高官が大幅な利上げに前向きな姿勢を示したことから、欧米の長期金利は一段と上昇しました。

通貨市場では、日本の金融政策の方向性の違いが意識され、円は米ドルに対して軟調に推移しました。ユーロは、域内の景気減速懸念を背景に対米ドルで下落する一方、対円では日本の貿易収支の悪化観測等を背景に上昇しました。

運用状況

デレージションは、月末時点でベンチマーク比、約0.2年長めとなりました。債券市場配分では、イタリア、オランダから、豪州へ入れ替え、月末時点の主なポジションは、豪州、スウェーデン、カナダ、ニュージーランド等をオーバーウェイト、米国、中国等をアンダーウェイトとしました。また、ペルーで政情不安が高まったため、ドル建てのペルー国債から米国債へ入れ替えました。通貨配分では、米ドルのオーバーウェイト幅を縮小する一方、スウェーデンクローナをアンダーウェイトからオーバーウェイトへと転換し、月末時点の主なポジションは、スウェーデンクローナ、米ドル、豪ドル等をオーバーウェイト、人民元、英ポンド、NZドル等をアンダーウェイトとしました。

今後の見通し

インフレ退治、景気後退の回避、金融環境の安定の同時達成を目指す中銀の悩みが深まる中で、当面はインフレ抑制に重点が置かれ、短期金利の上昇圧力は景気鈍化の兆候が顕現化するまで持続すると見られます。一方で、長期金利については引き締めによる景気減速を懸念され、長短金利差は縮小に向かうと考えます。また、供給制約によるインフレ懸念に加え、地政学的リスクに伴うマインド低迷によってスタグフレーション懸念が台頭し、物価連動国債、資源国通貨の需要が高まるものと予想します。このため、各国の景気・物価情勢に応じたデレージション調整、満期構成を実行しつつ、物価連動国債等への分散投資を施し、収益獲得を目指す方針です。通貨配分では、主なポジションとして、スウェーデンクローナ、米ドル、豪ドル等をオーバーウェイト、人民元、英ポンド、NZドル等をアンダーウェイトとする方針です。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ファンド名：バランスVA30

作成基準日：2022年4月28日

ファンドの特色

- ① 主として、日本株式マザーファンド、日本債券マザーファンド、外国株式マザーファンドおよび外国債券マザーファンドに投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
- ② 基本配分比率は国内株式15%、国内債券35%、外国株式15%、外国債券35%とします。
- ③ 上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動許容幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
- ④ 実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
- ⑤ 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

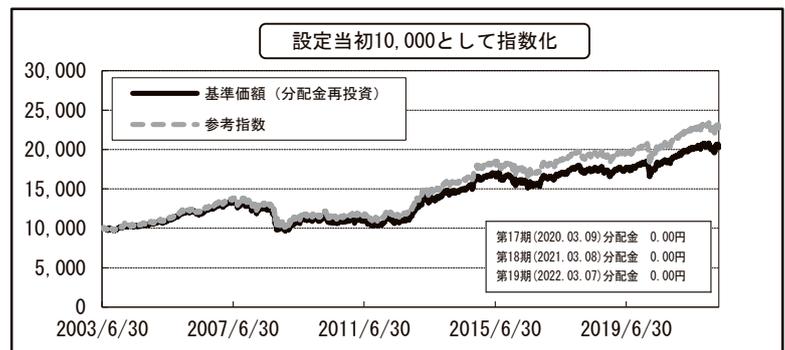
基準価額の騰落率

ファンド設定日：2003/06/30

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.10%	+1.10%	-1.29%	+2.57%	+15.24%	+103.61%
参考指数	-1.10%	+1.11%	-1.15%	+2.84%	+16.39%	+128.51%
差	+0.00%	-0.01%	-0.14%	-0.27%	-1.15%	-24.90%

(注) 参考指数は、当ファンドが組入れている各資産(マザーファンド)のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移(当ファンド)

設定来分配金合計 100円
(10,000口あたり、課税前)

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	20,207円	-224円
解約価額	20,207円	-224円
純資産総額	728百万円	-12百万円

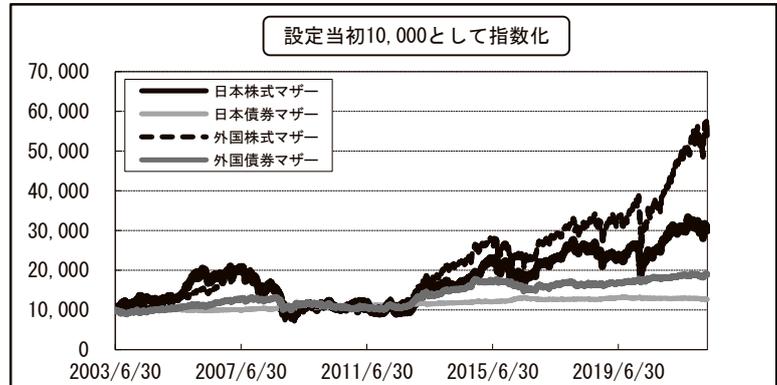
※純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	14.5%	15.0%	-0.5%
日本債券マザー	34.1%	35.0%	-0.9%
外国株式マザー	15.5%	15.0%	0.5%
外国債券マザー	35.6%	35.0%	0.6%
コール他	0.3%	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注) 投資信託純資産総額比

【ご参考】マザーファンドの推移



◇ 4月の市場動向

【日本株式】 国内株式市場は下落しました。月前半は、米国の金融引き締めペースの加速や新型コロナウイルス感染拡大を受けた中国のロックダウン(都市封鎖)などが懸念され、下落しました。月後半は日米の金利差拡大による一段の円安・米ドル高進行が一定の支えとなった一方、米国の金融引き締めへの警戒感などから、一進一退の展開となりました。

【日本債券】 国内債券市場では、10年国債利回りが0.215%に上昇しました。月前半は、国債需給の引き締めが意識されて月初に利回りは低下しましたが、その後は米長期金利が上昇した影響から上昇に転じました。月後半は、利回りは日銀の許容レンジ上限(0.250%)近辺で推移しましたが、月末には日銀が金利上昇を抑制する姿勢を鮮明にしたことから、急低下しました。

【外国株式】 米国株式市場は下落しました。金融引き締めペースの加速や新型コロナウイルス感染拡大を受けた中国のロックダウン(都市封鎖)長期化による世界経済への影響が懸念されたことなどから下落しました。欧州株式市場はまちまちとなりましたが、全体では下落しました。ウクライナ情勢を巡る地政学リスクが引き続き意識される中、中国の景気減速懸念などが重石となりました。

【外国債券】 米国10年国債利回りは、米国債の需給悪化懸念が高まる中、インフレ指標の高止まりが続いたことに加え、FRB(米連邦準備理事会)高官から利上げペース加速を支持する発言が相次いだことから、上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、高インフレの長期化が懸念されたこととECB(欧州中央銀行)の早期利上げ実施への警戒感が高まったことから、上昇しました。

設定・運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメント (<https://www.smtam.jp/>)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ファンド名：バランスVA50

作成基準日：2022年4月28日

ファンドの特色

- ① 主として、日本株式マザーファンド、日本債券マザーファンド、外国株式マザーファンドおよび外国債券マザーファンドに投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
- ② 基本配分比率は国内株式25%、国内債券25%、外国株式25%、外国債券25%とします。
- ③ 上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動許容幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
- ④ 実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
- ⑤ 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

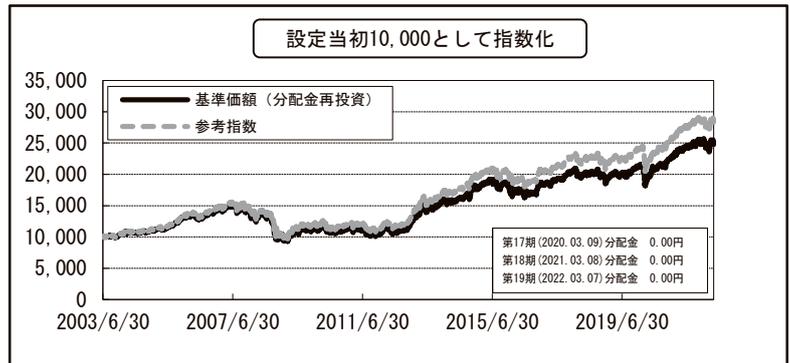
基準価額の騰落率

ファンド設定日：2003/06/30

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.76%	+1.69%	-1.38%	+4.08%	+22.70%	+149.76%
参考指数	-1.76%	+1.73%	-1.13%	+4.51%	+24.07%	+183.95%
差	+0.00%	-0.04%	-0.25%	-0.44%	-1.37%	-34.19%

(注) 参考指数は、当ファンドが組入れている各資産(マザーファンド)のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移(当ファンド)

設定来分配金合計 100円
(10,000口あたり、課税前)

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	24,798円	-444円
解約価額	24,798円	-444円
純資産総額	4,846百万円	-170百万円

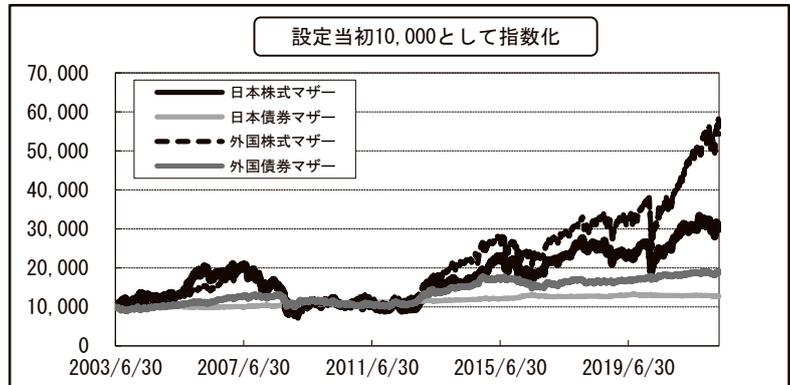
※純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	25.1%	25.0%	0.1%
日本債券マザー	24.6%	25.0%	-0.4%
外国株式マザー	25.0%	25.0%	-0.0%
外国債券マザー	25.0%	25.0%	0.0%
コール他	0.3%	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注) 投資信託純資産総額比

【ご参考】マザーファンドの推移



◇ 4月の市場動向

【日本株式】 国内株式市場は下落しました。月前半は、米国の金融引き締めペースの加速や新型コロナウイルス感染拡大を受けた中国のロックダウン(都市封鎖)などが懸念され、下落しました。月後半は日米の金利差拡大による一段の円安・米ドル高進が一時的な支えとなった一方、米国の金融引き締めへの警戒感などから、一進一退の展開となりました。

【日本債券】 国内債券市場では、10年国債利回りが0.215%に上昇しました。月前半は、国債需給の引き締めが意識されて月初に利回りは低下しましたが、その後は米長期金利が上昇した影響から上昇に転じました。月後半は、利回りは日銀の許容レンジ上限(0.250%)近辺で推移しましたが、月末には日銀が金利上昇を抑制する姿勢を鮮明にしたことから、急低下しました。

【外国株式】 米国株式市場は下落しました。金融引き締めペースの加速や新型コロナウイルス感染拡大を受けた中国のロックダウン(都市封鎖)長期化による世界経済への影響が懸念されたことなどから下落しました。欧州株式市場はまちまちとなりましたが、全体では下落しました。ウクライナ情勢を巡る地政学リスクが引き続き意識される中、中国の景気減速懸念などが重石となりました。

【外国債券】 米国10年国債利回りは、米国債の需給悪化懸念が高まる中、インフレ指標の高止まりが続いたことに加え、FRB(米連邦準備理事会)高官から利上げペース加速を支持する発言が相次いだことから、上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、高インフレの長期化が懸念されたことやECB(欧州中央銀行)の早期利上げ実施への警戒感が高まったことから、上昇しました。

設定・運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメント (<https://www.smtam.jp/>)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：短期資金A型

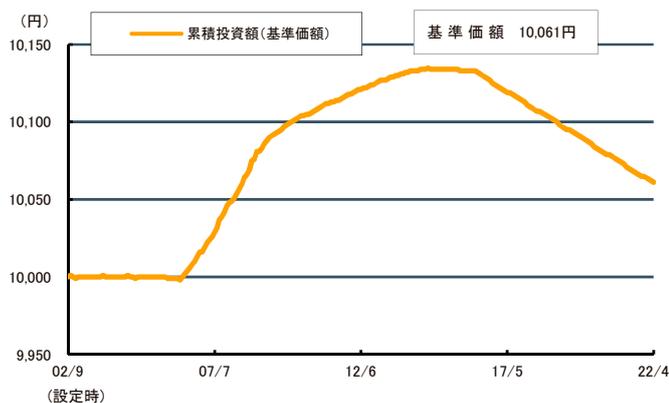
フィデリティ・マネー・プールVA

夢咲かせ

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。

商品概要	
形態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設定日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定来の運用実績 (2022年4月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
 ※当ファンドは、ベンチマークを設定していません。
 ※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

純資産総額	70.8 億円	(2022年4月28日現在)
-------	---------	----------------

累積リターン (2022年4月28日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.01%	-0.03%	-0.05%	-0.12%	-0.35%	0.61%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

第16期(2017.11.30)	0円
第17期(2018.11.30)	0円
第18期(2019.12.02)	0円
第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース) (2022年3月31日現在)

	銘柄	種類	格付	比率
1	-	-	-	-
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

(組入銘柄数：0)

上位10銘柄合計 0.0%
(対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

(2022年3月31日現在)

資産別組入状況

債券	-
CP	-
CD	-
現金・その他	100.0%

組入資産格付内訳

長期債券 格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	-
短期債券 格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他	100.0%	

平均残存日数	-
平均残存年数	-

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。「(プラス/マイナス)」の符号は省略しています。なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

募集代理店

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-125-104

<https://www.ms-primary.com>